

## グループA

### 『独居高齢者 大腸がん終末期の一例 ~療養場所の選択について考える~』

☆グループディスカッション part1

選択肢

3

#### 選択肢の理由

- ・末期の状態であり、ゴールが見えている
- ・残された家族の後悔を考えて（グリーフケア）

#### ☆グループディスカッション part2

可能 or 不可能

可能ならどう支えるか。不可能なら何が問題でどう改善すれば可能か。

- ・介護サービスの充実
- ・キーパーソン、関わる人達の意思統一（介護に関わる、あらゆる方達）
- ・関わる介護者をできるだけ増やす

#### 実行するために何が必要となるか

- ・介護保険の介護度を上げる
- ・本人と娘さんの意思の統一

#### 今後考えられる課題

- ・娘さんの家族に対する配慮

#### まとめ

- ・終末期に向けた具体的な話をする

## グループB

### 『独居高齢者 大腸がん終末期の一例 ~療養場所の選択について考える~』

#### ☆グループディスカッション part2

##### ☆グループディスカッション part1

選択肢

1

#### 選択肢の理由

本人の意志が「自宅」

問題が起きても変更はきく

ホスピスは本人が選択しない — 病院から逃げる程のため

可能〇・不可能

可能ならどう支えるか。不可能なら何が問題でどう改善すれば可能か。

- ・その人をどう支えるか 家族、友人、サポート体制、支援者を増やしていく。
- ・緊急時の連絡をしっかり作っていく。

#### 実行するために何が必要となるか

- ・住環境
- ・家族の協力体制
- ・サービス
  - ・往診
  - ・ヘルパー
  - ・訪問看護
  - ・訪問リハビリ

#### 今後考えられる課題

- ・問題、課題発生時の早期な対応  
ex サービス担当者会議
- ・K P +孫さんの不安増強

#### まとめ

- ・”看取る“とは、どうやってできるかをサポートすることであって本人の生きる証を作っていく

# グループC

## 『独居高齢者 大腸がん終末期の一例 ~療養場所の選択について考える~』

☆グループディスカッション part1

選択肢

1

### 選択肢の理由

- ・本人の希望なので

可能 or 不可能

可能ならどう支えるか。不可能なら何が問題でどう改善すれば可能か。

#### 《可能》

- ・家族への連絡（情報共有、協力体制の確認など）
- ・医療、介護に関する

#### 《不可能》

- ・本人意志決定できず、家族等の確認とれない

### 実行するために何が必要となるか

- ・要支援1の為、区分変更をかける
- ・家族と本人との話し合い
- ・病状説明をしっかりする  
(いつどうなるか分からないと！)

### 今後考えられる課題

まとめ

## グループD

☆グループディスカッション part1

選択肢

1

### 選択肢の理由

- ・本人の意志を尊重し、現時点では自宅  
病状・状況に応じて本人の希望が変わることも  
» その時に対応できる準備もしつつ

### 今後考えられる課題

- ・緊急時の対応
- ・家族の不安の理由を確認し対策
- ・訪問看護等サービス
- ・区分変更

可能 or 不可能

可能ならどう支えるか。不可能なら何が問題でどう改善すれば可能か。

### 《可能》《不可能》

- ・人間らしく尊厳を保ち、死ぬために現状の社会保障制度では無理  
家族の協力が必要

### まとめ

協力者がどれだけいるか、家族・関係者がどれだけ連携できるか

## グループE

### 『独居高齢者 大腸がん終末期の一例 ~療養場所の選択について考える~』

#### ☆グループディスカッション part2

##### ☆グループディスカッション part1

選択肢

1

ですが・・・

#### 選択肢の理由

(今の段階では)

- ・本人の思いを尊重したい（ホスピスでも自宅でも急変はありえる）

可能の不可能

可能ならどう支えるか。不可能なら何が問題でどう改善すれば可能か。

ヒト・モノ・力ネ

家族 一 最期の迎え方の話し合い

チーム作り 一 情報共有（考えられる関係者）

医療・介護連携 一 報告・連絡系統を

連絡ノートを活用（本人もチーム内）

配食・大家さん・・・スケジュール（できるだけ空白時間をなくす）

#### 実行するために何が必要となるか

- ・ご家族への心のケア
- ・緊急通報  
(システム、3Fの甥の協力は?)
- ・専門の医療・サービス

#### 今後考えられる課題

- ・リスクへの対策  
転倒→骨折  
ADL低下の状態により、段階を追ってその都度、ご本人・ご家族と療養場所を話し合う

まとめ